



私は、くまキャンプで組長になりました。初めてのくまキャンで初めての組長だったので大変なことだらけでした。

中でも一番と言っていい程大変だったのは、組のみんなをまとめることです。スタンプで何をやるか決めるときは、とにかく意見がごちゃごちゃでまとめるのが大変でした。結局「はらべこあおむし・改」に決まりましたが、うまく行って本当によかったです。

今回はちがう団の人と活動したので、思いがけない発想が出てきたりして面白かったです。でもやっぱり自分の隊が一番いい！！

(1組組長 茂原第2団 石谷 優芽)

わたしはくまスカウト集会に参加して思ったことは、初めてあった人と夜までいるのは少し抵抗があることした。でも実際にやってみて、初めてあった人と仲良くなったら、とても楽しくて時間を忘れるほどうれしかったです。わたしはくまスカウト集会に参加して、とても充実したいちにちとなりました。またこのような機会があれば、参加したいと思います。

(1組次長 市原第1団 倉持 奈桜子)

私は組長で、テントをたてるときに指示をしなければいけないのだろうけれど、むずかしくてできなかったから、このけいけんをいかして、またたてるときにはスムーズにたて



たい。ハイキングでは、山の下りで、落ち葉がありすぎてすべってころびそうになってあぶなかった。

キャンプファイヤーの時の発表が、2組はほかの組とちがって地味だったかな？でも自分的にはよくできたと思う。1組のゆうり虫の発表がおもしろかった。同じチームで友だちがひとりできたからうれしかった。大変だったのは、武器作りがめっちゃくちゃ大変だった。

(2組組長 茂原第2団 飯島 千花)

くまスカウト集会では、会ったことのないスカウトの人たちとハイキングをしたり、げきをしたり、弁当を食べたり、ハイキングの途中にあったゲームをみんなで協力してクリアすることができて、とても楽しかったです。特に楽しかったのが、ハイ

キングです。最初は見向きもしなかった人が、ハイキングの時にぼくの前にいました。ハイキングをしている間に、だんだん話がもたがってきて、最終的には、め

くなっていて、とても楽しかったです。なので、またこのような行事があったら、参加したいです。

(2組次長 市原 第6団 星山 創音)

令和3年11月27日、旧内田小学校でかずさ地区くまスカウト集会が行われました。はじめて会う人たちばかりで、じゃんけん組長になって緊張しました。ハイキングは細い道がスリルがあり、楽しかったです。山登りが好きになりました。スタンプはドキドキしたけど、終わったらすっきりしてその後の活動も楽しめました。ゲームがたくさんあってあっという間の一日でした。最後に僕の組が1位で優秀表彰されてうれしかったです。

(3組組長 市原第6団 小熊 悠太)

くま集会に参加したスカウトは17人で、三つの組に分かれ、私は3組の次長になりました。始めにテントをはりました。むずかしかったけど、協力してきれいにはることができました。

ロープを命づなにして、危険地帯へゴミを拾いに行くゲームでは、一位になったので、一番にハイキングへ出発しました。記憶力ゲーム、的当て、クイズなどがあり、3組は最優秀組に選ばれ、とてもうれしかったです。また、こんな集まりがあったら参加したいと思いました。

(3組次長 東金第1団 山口 広太郎)



キングです。最初は見向きもしなかった人が、ハイキングの時にぼくの前にいました。ハイキングをしている間に、だんだん話がもたがってきて、最終的には、め

# 11KV キックオフキャンプ 2021.11.20-21

「第11回上総地区ベンチャー(11KV)」の今年度中、開催に向けて地区内ベンチャースカウトの親睦を図ることを目的として11月20日～21日、市原第3団・第6団野営場にて上総地区合同キャンプを開催しました。コロナ禍で対面による活動ができていないこともあり、地区内のベンチャースカウトが互いに知り合い野外活動の楽しさを思い出して今後の活動に弾みをつけました。主となるプログラムは過去に開催された「第1回上総地区ベンチャー(1KV)」～「第10回上総地区ベンチャー(10KV)」の様子をDVDにまとめた映写会を実施して、11KVの素案をスカウトたちが積極的に取り組み、意義深いキャンプが開催できました。

(市原第3団 団委員長 北川 修次)



夜はとても冷えて、もっと防寒対策が必要であることとカイロを持って行くべきであったということを学ぶことが出来ました。冬のキャンプは想像以上に過酷だったので、次に冬キャンプをする時が来たら今回のキャンプで学んだことを生かせるようにしたいと思いました。

(茂原第2団 渡邊 そら)

今回のキャンプは上総地区のベンチャースカウト隊の合同キャンプだったので、上総地区の他の団の人と交流をするのを楽しみにしていましたが、残念な事に他の団の人は来られなくて、茂原のベンチャースカウトだけのキャンプになりました。

けど茂原の指導者だけではなく、上総地区の指導者がいたので、いつもとは違うキャンプが体験出来たと思います。いつもよりスムーズにテントが建てられたり、美味しい夕飯を作れたり、時間にゆとりを持って過ごせたので、毎回こんな余裕が持てるキャンプが出来たらいいなと思いました。



11KVの事を考え、楽しくキャンプができたと思います。

(茂原第2団 中田 逸聖)

初めての11KVの集会は、自団のスカウトしか集まらなかったのがちょっと残念でした。

でも、久しぶりのキャンプで仲間と絆を深めることができたように感じます。

普段、当たり前のように仲間と出来ていたキャンプがコロナによって出来なかった時、私は面倒な部分の方が多いと思っていたキャンプが、楽しい面の方が多かったのだと気づきました。



ヒロキ

(市原第3団ベンチャー隊副長 山本開生)

なので、ずっとキャンプがしたい  
と思っていた中での今回のキャンプ  
はとても楽しかったです。時間を気  
にしなくて済むのんびりしたキャン  
プだったので、仲間とおしゃべりす  
る時間が沢山ありました。スカウト  
の野外活動自体も久しぶりだったの  
で嬉しかったです。

次回は、他団のスカウトとも交流  
がしたいです。

(茂原第2団 須藤 ロゼ)

今回の11KV キックオフキャンプ  
は、他の団のベンチャースカウトの  
予定が合わず、茂原からしか参加で  
きななかった。だが、参加したメンバ  
ーから、関東県内から北海道、沖縄、  
海外までに及ぶ幅広い案が出て、面



ISS 国際宇宙ステーションの機影

白そうな計画ができてよかったです。

特に、沖縄にはまだ行ったこと  
がないので、とても楽しみだし、  
24WSJに参加した時に派遣隊で一  
緒だった沖縄県連盟の人とも、また交  
流して思い出を作りたいです。ただ  
我々が沖縄に行く日には台風は来て

ほしくないなと思いました。

次回、上総地区の茂原以外の団・  
隊の人たちとも一緒に集まって、も  
っと詳細に計画を詰めて、現実的に  
まとめて行こうと思います。

(茂原第2団 平島 一輝)

## 各団からの便り

### 市原第1団

### 「インターハイに参加して」

8月20～23日福井県で開催され  
た「インターハイ登山2021」に参加  
した当団スカウトの感想文です。

\*

我が高校、山岳部はこの夏インター  
ハイ出場を果たした。某高校の15連  
覇を阻止しての悲願達成。コロナ禍  
で、応援はもちろん補欠もなし、顧  
問の先生+4人で福井県にいざ出陣。



大会は3泊4日で行われた。審査  
項目は、装備、テント設営・撤収、  
登山行動(含:読図)、天気図、知識(救  
急・自然観察・気象)。装備は抜き打  
ち検査。テント設営は、時間内に手

際の良さと正  
確さが問われ  
る。登山行動  
は体力・歩行  
技術が測られ  
る。行程途中  
そこかしこに  
審査員が潜伏  
し採点してい  
た。天気図は  
気象通報(ラ  
ジオ)を聴い  
て地図に記入  
後、今後の天  
気を予測す  
る。知識に関  
しては過去問  
を分析し、互  
いにテストを  
作成し合い対  
策



を練って臨んだ。

結果は、登山行動の体力がマイナ  
ス3.3点(全く音を上げてはいなかつ  
た。おそらくペース配分)で19位(1  
点差の中に4～7校ひしめく厳しい  
世界)と残念だったが、何にも代え  
がたい貴重な体験となった。顧問  
の先生を始め、トレーニングを一  
緒に行ってきた仲間、そしてこの  
素地を私の中に作ってくださった『  
ボーイスカウト』にとっても感謝  
している。

(ベンチャー隊 戸谷 優啓)

## 市原第3団

# 元気が1番 市原第3団！



コロナ禍が続き、長らく対面での活動を行うことができませんでした。ようやく11月に団の活動としてスカウトの日に清掃活動を行う事ができました。清掃活動の後はSDGsについて話し合い、各自の意見を述べ合うことによってSDGsに対する理解を深めました。今、3団はスカウト数が少なくなっています。ですがビーバースカウトから活動してきたスカウトも親元を離れ学生生活を送っていたり、社会人として活躍しながらスカウト活動を続けています。今後ボーイ隊のスカウトやベン

チャースカウト達も先輩スカウトに続き、社会で活躍できる人間になれる様、私たち指導者もスキルアップしながらこれからも支援していきたいと思います。

(ローバー隊隊長 花房 千嘉子)



6月に市原第6団のボーイ隊とキャンプをしました。初対面の人が多く始めは緊張しましたが、みんながとても優しく安心してました。年下のスカウト達はみんな仲が良く、活動するときは協力し合っていて時間がかかる作業もみんなのおかげですぐに終わらせることができました。

その時に改めて仲間の大切さに気付きました。コロナが終息したら、またみんなとキャンプをしたいです。

(ボーイ隊 花房 美咲)



今回はハイキングに参加して無事に終わることができました。コロナ禍で計画段階から中止も危惧されましたが無事に計画実行することができました。それはこれまで長い間訓練や失敗を繰り返し着実に技能をつけてきたためであると、私は思います。これからもスカウト活動を楽しみながらも技能をつけ活かせるよう頑張っていきたいです。

(ベンチャー隊 濱谷 壮摩)

## 市原第5団

# 毎度おなじみの ナイトハイク

夜の寒さが身に染みるようになって来た11月6日に市原第5団ボーイスカウト隊、恒例の伝統行事でもあるナイトハイクが実施されました。毎年辛い思いをしているスカウト達ですが、この活動は通常より出席率が高いのです。

高滝駅をスタートし、高滝湖1周(明かりが眩しいグランピングを横目

に)⇒川間駅(鹿の横断に遭遇)⇒牛久ゴールの総距離13kmとコロナ禍でもあり通常より短時間・短距離、で実施しました。この距離ですと小学生でも軽く歩ける距離、ましてや中学生ともなると物足りなさを感じる距離かと思えます。しかし、昼では見えないものが見えたり・感じたりする事が出来、子供たちも大人も目をキラキラと輝かせながら完歩する事が出来ました。いつもの疲労感と達成感とは違った気持ちで、周りを注視しながら歩く事が出来たのではないのでしょうか。

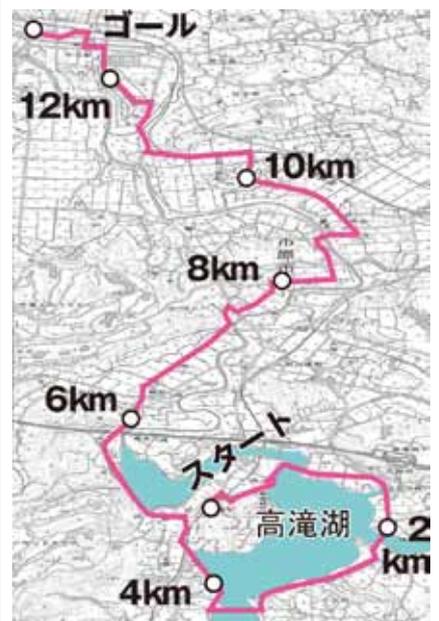
近年環境の変化でしょうか、野生動物が活動的になっています。そのような事

が何故起こっているのかもスカウト達と考えながら秋の夜長にナイトハイク、次回も楽しみです。

(ボーイ隊 隊長 石垣 千草)



スタート前(高滝駅)



## 市原第6団

# 野営場感謝式、タイムカプセル10年の時空を超えて開封



かずさ34号(2017.11.1発行)に野営場とそこに眠るタイムカプセルについて紹介いたしました。その後、地主(延命寺総代)より檀家の都合で返還してもらいたいとの申し入れがあり返還期限を2021年年末といたしました。

7月に返還準備作業を終了し、タイムカプセルが8月28日に開封の10年を迎えることより、感謝式とタイムカプセル開封の団集会を企画することになりました。33年間の野営場感謝式に卒業生、特にタイムカプ

セルに手紙を託したスカウト全員を招待し開封したかったのですが、新型コロナの感染防止より現在籍者で開催としました。・・・残念!

8月、9月は「緊急事態宣言」が発出され、10月17日(日)によりやく開催できました。当日は、あいにく雨となりましたが、〈1部〉タイムカプセル開封 〈2部〉野営場感謝式、で開催しました。

タイムカプセルの開封です。10年前に埋めたベンチャースカウトが掘出すと、10年の時を経てタイムカプ



セルが姿を現しました。10年後の自分にあてた手紙を披露し楽しい開封となりました。ビーバー、カブスカウトが目をは輝かせている姿が印象に残りました。

その後、延命寺総代、朝倉正巳氏(開場にご尽力)に感謝状を授与し団委員長から謝辞と最後に全員で「長い間ありがとうございました」を唱和し無事に感謝式を終え返還することができました。

尚、新野営場は、市原第3団野営場開場を共同で開場した縁もあり共同利用させていただくことになり4月に地主さんと契約をいたしました。市原第6団にとって2021年は、大きな節目の年になりました。新野営場が新たなスタートの第一歩として活動の輪を広げ、スカウトがハツラツと活動できる団を目指していきたいと思ひます。

## 市原第7団

# ビオトープ活動で地域愛を育もう

当団野営場周辺の地域開発を進める大手建設会社様からビオトープ整備活動に参加させていただく機会をいただきました。

5月には造成池のまわりにウッドチップ(木片)を敷設する作業に参加させていただきました。ぬかるむ



池のまわりに歩きやすい遊歩道ができあがり感動しました。その後、擬木階段を作る予定でしたがコロナ禍で、我々のお手伝いはしばらく中断。

コロナが一段落した10月に造成池のまわりに、あじさいや花しょうぶをはじめ多くの草花の苗や若木の植栽をさせていただきました。池のまわりの遊歩道がたくさん花や緑に彩られる日が楽しみです。

早春期にはトウキョウサンショウウオの卵を池に放つ計画もあり皆でワクワクしています。

スカウトたちには、活動を通じて自然への親しみや



地域愛とともに、地域への誇りや自信を育むきっかけになって欲しいと願っています。

**茂原第2団**

**「ビバ！ビバー隊復活！」**

令和2年4月時点では残念ながらビバー隊にスカウトがいませんでした。しかし、令和3年1月にかわいい2人のビバースカウトが入団！ビバー隊が復活しました。そしてさらに2人の入団があり、総勢4人となりました。まだまだコロナ禍で、思うような活動ができないのですが、対面の集会ではみんな元気いっぱい飛び回っています。

ハイキング、シャボン玉作り、デイキャンプで野外料理、忍者修行…等々。ウェブ集会もしました。入団



以来ずっとマスクをしているので、ウェブ集会で初めてお互いの素顔を見た(^^)なんてことも！

そしてまもなく新しいお友だちを

迎えます。たくさん仲間を増やして、みんなでいろいろなことにチャレンジしていきたいです。

**東金第1団**

**元気に活動、入団者増えました！！**

コロナ禍で活動自粛が続く中、8月に予定していた活動体験会が、9月に延期、更に延期で10月17日ようやく実施できました。“夏の水遊び”が、“焼き芋”に代わり、寒い日でしたが、5人の入団者につながりました。カブ隊に既に見学参加より1人と、日本連盟の団情報サイトからの問い合わせからの1人、計7人の新規入団がありました。



10月から活動が再開し、ビバー隊は見学者と一緒に消防署を見学して丁寧に説明を受け、カブ隊は山武市役所から、伊藤左千夫記念館、山

武警察署、愛宕山公園、波切不動堂など山武市内をハイキングしています。この日も見学者と一緒にしました。

4年前、6年生のみで再スタートさせたボーイ隊の4人が、11月の上進式を行いベンチャースカウトとなりました。

団行事としても、まだまだ会食はできませんが、クリスマス会、正月祭も行う予定です。

指導者には、コロナ禍でのオンライン研修会にも積極的に参加していただきましたが、スカウトの元気な笑顔と一緒に活動できることがやはり何よりです。スカウトの成長を見守り、共に喜び、活動を展開していきます！！



## 大網白里第1団 大網白里第1団の夏季活動

当団における夏季活動を紹介いたします。まず、5月中旬から下旬にかけて大網白里市内の小川で蛍鑑賞会を行います。例年、数百匹の蛍が舞う様子は素晴らしく、夕方からの集会として鑑賞します。

市内在住で環境省及び大網白里市より承認を受け、蛍の観察保護活動を行っているAさんから10年前よりアドバイスを頂き、蛍は綺麗な水でなくては生きることが出来ない事、その環境を保つため周辺農家も農薬の使用をなるべく控えているからこそ保たれている環境であることを学びます。

続いて、7月になると蛍育成事業として蛍の餌となるカワニナ採りを行います。蛍が鑑賞出来る川から山を1つ隔てた川でカワニナを採り、蛍の生息地域に放流します。Aさんからは、生き物を住んでいる所から別の場所へ移動させることは、国内外来種として自然環境に影響を及ぼ

す可能性があるため注意が必要とすることや、食物連鎖等について学びます。少しお勉強をしたあとは、小川のなかでザリガニや蛙、泥鰌を追いかけ大騒ぎです。



そして、7月下旬には滝修行を行います。蛍の生息地域の上流に不動尊様の小さな滝があります。まず、不動尊様の庭先で遊ばせて頂くため、滝に入る前にご挨拶とお礼の言葉をみんなで伝えます。小さな滝といっても、かなりの水圧があり湧き水であることから水温も低く、その年の



水量や水温により異なりますが、大人でも滝に打たれるのは15～30秒位が限界です。身も心も清められる気分です。例年は楽しく水遊びの雰囲気ですが、一昨年からのコロナ禍の為、密にならないよう距離をとりみんなで順番に「コロナ退散、コロナ退散！」と滝に打たれながら祈願いたしました。

現在、当団所属のビーバースカウトが不在の為、本年度は活動体験のプログラムとして上記活動を地域の子供達と行い大好評でした。

## 日本ボーイスカウト千葉県連盟上総地区

千葉県内にはボーイスカウトの88の団があり、4,446人（令和3年11月現在）が活動しています。また、県内を11地区に分け、我が上総地区もこの11の地区の一つです。上総地区には8個の団が所属しています。

団名	活動地域	入団等問合せ先	メールアドレス
市原第1団	市原市八幡宿、五井周辺	田中 秀近	h2-n-h-y@ksf.biglobe.ne.jp
市原第3団	市原市国分寺台周辺	楠瀬 順子	ichihara3boyscout@gmail.com
市原第5団	市原市牛久周辺	山内 憲章	nori7k2tgu@hotmail.co.jp
市原第6団	市原市辰巳台 ちはら台周辺	齋藤 敏子	tosaito-1315bn@outlook.jp
市原第7団	市原市姉崎周辺	菊池 由紀	yuki-mii-k@outlook.jp
茂原第2団	茂原市、長生郡周辺	青木 勇	aoki-isamu@nifty.com
東金第1団	東金市、山武市、山武郡周辺	山下 すみ江	s_yamashit@r6.dion.ne.jp
大網白里第1団	大網白里市周辺	奥貫 誠	okunuki@abox.so-net.ne.jp

ボーイスカウト 上総地区ホームページ

<http://bs-kazusa.jp/>

